

希少動物モニタリング

希少動物モニタリング

1 サンショウウオ科2種

サンショウウオ科2種の生息調査を実施した。

ヒガシヒダサンショウウオ *Hynobius fossigenus*

多野地域の一つの沢で生息確認調査を本種の繁殖期に実施した。♂の成体1を確認したが卵のうや幼生は見つからなかった。

トウホクサンショウウオ *Hynobius lichenatus*

利根沼田地域で生息確認調査を本種の繁殖期に実施した。調査した6地点のうち、2地点で卵のうを確認した。そのうち1地点では♂成体も確認したが、その後渇水のため卵のうや幼生は干からび死滅した。また、新しく2地点で幼生を確認した。

(中澤 和則・金井 賢一郎・藤田 宏之・森口 一・山崎 陽平)

2 ホトケドジョウ

今年度（令和6年度）は中部地域の3河川計8地点で口径30cmほどのタモ網による生息確認調査を行った。1地点で計17個体のホトケドジョウを確認した。また、本調査会員より中部地域の1河川1地点で2個体を確認したとの情報を得た。

(相澤 裕幸・松井 裕之)

3 アオハダトンボ

今年度（2024年度）の調査は、14河川について、17回実施した。

本種が確認できたのは7河川（西部地域9河川中3、東部地域2河川中2、中部地域2河川中1、利根沼田地域1河川中1）であった。中部地域では、これまで未確認であった河川で、新たに1河川から確認できた。今後も継続して調査を進めたい。

(岡崎 太郎・荒井 堅一)

4 コオイムシ科昆虫

タガメ *Kirkaldyia deyrolli*、オオコオイムシ *Appasus major*、コオイムシ *Appasus japonicus* が対象種である。

今年度の調査は、6月から10月にかけて中部・利根沼田地域4地点で調査を実施した。

タガメについては、確認できなかった。

オオコオイムシについては、10月に利根沼田地域の池沼で23個体を確認した。

コオイムシについては、6月に中部地域の河川で5個体、9月に中部地域の河川で1個体、10月に中部地域の河川で2個体を確認した。

(茶珍 護・内山 裕司・相澤 裕幸)

5 カラスガイ

今年度（令和6年度）は県内の1湖沼で生息確認調査を行った。1地点で生体1個体、殻2個体を確認した。

（相澤 裕幸・山崎 陽平）